

議案第48号

消防ポンプ自動車の取得について

下記のとおり消防ポンプ自動車を取得するにつき、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年三田市条例第12号）第3条の規定により、議会の議決を求める。

平成26年6月2日提出

三田市長 竹内英昭

記

1 取得数量

1台

2 取得の目的

災害の多種多様化に伴い、消火能力の強化及び被害の軽減等を図り、市民の安心・安全を守る。

3 取得金額

42,390,000円

4 取得の相手方

大阪市生野区小路東五丁目5番20号

株式会社モリタ 大阪支店

支店長 平田隆吉

消防ポンプ自動車の概要

1 概 要

最新のC A F S（圧縮空気泡消火システム）及び小型水槽（600リットル）を搭載した消防ポンプ自動車は、積載水を使用することで迅速な消火活動が行えるとともに、空気を含んだ泡を放射し、少ない水量で大きい消火能力を有するため、これを使用することにより、水損の防止及び被害の軽減を図り、市民の安心・安全を守るものである。

2 消防ポンプ自動車の構造

区分	消防ポンプ自動車	現行ポンプ車	比較
車体全長（mm）	5, 850	5, 860	-10
車体全幅（mm）	1, 900	1, 890	+10
車体全高（mm）	2, 960	2, 870	+90
室内長（mm）	2, 000	1, 900	+100
室内幅（mm）	1, 450	1, 450	0
室内高（mm）	1, 600	1, 380	+220
積載水（L）	600	0	+600

※数値については、カタログ上のものであり、実車の数値とは異なる場合がある。

3 艙装・積載品

C A F S（圧縮空気泡消火システム）、小型水槽（600リットル）、オールシッター、ハイルーフキャブ、放水銃、照明装置、携帯用小型熱画像カメラ、可搬ポンプ、その他

(1) C A F S（圧縮空気泡消火システム）

水と泡薬剤を混合した泡溶液に圧縮空気を注入し、泡を生成、放射する装置で、少ない水で圧倒的な消火能力を発揮し、水損防止など被害を最小限に止めることができる。

(2) 小型水槽（600リットル）

消防ポンプ自動車用シャーシである3トンボディーには、従来積載すること

が難しかった小型水槽を装備することで、迅速な消火活動が行え、被害を軽減することができる。

(3) ハイルーフキャブ

広い天井と広い足元空間を有し、キャビン内での活動（空気呼吸器の装着等）をスムーズに行うことができる。